11月のスケジュール

Kawasaki ART Center

川崎市アートセンター 11

November 2026 No.222

11/4(水)
~11/27(金)
◆11/9(月)休館

●全席指定席　●ご鑑賞の3日前より購入可能〈窓口9時～／オンライン10時30分～〉※11/9(月)は窓口販売はありません　●111席＋車いす席2席

10/24(土)、25(日)、10/31(土)～11/3(火・祝)
小劇場、映像館にて開催！

第32回 KAWASAKIしんゆり映画祭2026　https://www.main.siff.jp/

MMC 11/4(水) 10:00(学) モネと時間旅行[2h06] ◆11/4(水)休映					
5(木)	10:00 進行曲 マーチングボーイズ [1h57] ♥11(水)保育付き上映 ◆11/9(月)休館	12:30(学) さとこはいつも [2h19] ♣UDCastMovieアプリ対応 ◆11/9(月)休館	15:20(学) 雌鶏 [1h36] ◆11/9(月)休館	17:25(学) セックス・ピストルズ 破壊の設計図 [1h36] ◆11/9(月)休館	19:30(学) CBGB ニューヨーク、PUNKが生まれた場所 [1h42] ◆11/9(月)休館
6(金)					
11/7(土)					
8(日)					
休館 9(月)					
10(火)					
11(水)					
12(木)					
13(金)					
11/14(土)	10:00(学) 魂のきせき [1h37] ◆11/16(月)休映	12:15(学) ムクドリと人生と レモンパスタ [2h02] ◆11/16(月)休映	14:50 NAZA ナザ [1h20] ◆11/16(月)休映	16:40(学) 京都ALS患者 嘱託殺人事件 [1h38] ◆11/16(月)休映	18:50(学) さとこはいつも [2h19] ♣UDCastMovieアプリ対応 ◆11/16(月)休映
15(日)					
休映 16(月)					
17(火)					
18(水)					
19(木)					
20(金)					
11/21(土)	10:00(学) ムクドリと人生と レモンパスタ[2h02]	12:35 NAZA ナザ [1h20] ◆11/24(火)休映	14:25(学) さよなら、私のロシア [1h30] ◆11/24(火)休映	16:25(学) 京都ALS患者 嘱託殺人事件 [1h38] ◆11/24(火)休映	18:35(学) ジュディ・シル 贖罪のシンガーソングライター [1h31] ◆11/24(火)休映
22(日)					
祝日 23(月)					
MMC 24(火) 10:00(学) モネと時間旅行[2h06]					
25(水)	10:00(学) ムクドリと人生と レモンパスタ[2h02]				
26(木)					
27(金)					

♥保育付き上映〈要予約〉※詳細は中面をご覧ください。
『進行曲 マーチングボーイズ』
11/11(水)10:00の回

チケット料金 ※ムビチケはご利用できません	一般	大学・専門学校生	会員シニア	障がい者付添(1名まで)	高校生以下
通常料金	2000円	1000円	1300円	1000円	800円

学生応援プライス作品｜(学)マーク＝大学・専門・高校生以下は500円 ※要学生証

●全席指定席　●チケットはご鑑賞の3日前より購入可能
窓口9時～／オンライン10時30分～上映30分前まで　オンライン購入サイト▶

◆各種割引《お一人様1300円》
- 水曜サービスデー
- 60歳以上はシニア料金
- パートナー50割(2人で2600円)

◆シネマ会員募集中!《手続きは受付》
- 入会金500円
- 年会費1500円(1年更新制)
- ★ポイント5つで1回ご招待
- ★同伴者割引あり(1名様まで)

◆ユースパス 3歳～18歳(高校生)まで
- 100円でパスを発行(1年間有効)
- 500円で映画がみられる!

◆団体鑑賞受付etc!



川崎市アートセンター
〒215-0004　川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107　FAX.044-959-2200
E-mail. info@kawasaki-ac.jp
公式サイト　https://kawasaki-ac.jp
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
※当館に駐車場はございません

川崎市アートセンター シネマニュース11月号No.222　2026(令和8)年10月19日　発行:川崎市アートセンター　発行責任者:関敏秀　編集責任者:戸村陽子　デザイン:中野香／島﨑蒼

アルテリオ・シネマニュース　2026年11月号　No.222

Kawasaki ART Center

川崎市アートセンター 11

11/4(水)～11/27(金)
上映スケジュール



11月の上映情報

Kawasaki ART Center

川崎市アートセンター 11

November 2026 No.222

学マーク
大学・専門・高校生
以下は500円
※要学生証

◆11/9(月)休館

学 かながわ映画部(仮) 学生応援プライス500

横浜シネマリンと当館において、学生証提示&SNSフォローで映画が500円でご鑑賞いただけます。

進行曲 マーチングボーイズ

2025年|台湾|カラー|ビスタ|1h57|DCP|PG12 ♥保育付き上映



©2025 Marching Nod Media. All Rights Reserved.

10/24(土)▶10/30(金)
11/5(木)▶11/13(金)

監督:ジャン・ルイジー
脚本:ケリー・チェン、ホアン・ジーカイ／出演:ムー・セン、リウ・ユーレン、ユー・ジェエン、リー・リーレン、マー・ジーシアン、ホアン・ディーヤン

マーチングバンドに青春をかけた
台北の高校生たち

1990年代の台北。台湾屈指の名門男子高に入学したジャン・ハオは、部活を禁じる父に内緒でマーチングバンド部に入る。天才肌の問題児や優等生の部長らと出会い、パフォーマンスを競うなか、不祥事が発覚し廃部の危機に直面する。部活にかける青春を鮮やかに描く。

●25年金馬奨　新人俳優賞ノミネート

CBGB ニューヨーク、PUNKが生まれた場所 学

2013年|アメリカ|カラー|シネスコ|1h42|DCP|PG12



© 2013 Film CBGB, LLC. All Rights Reserved.

10/24(土)▶10/30(金)
11/5(木)▶11/13(金)
学11/5～13のみ

監督:ランドール・ミラー
脚本:ジョディ・サピン、ランドール・ミラー／出演:アラン・リックマン、アシュリー・グリーン、ドナル・ローグ

ロックを根本から変えてしまった
伝説のライブハウスが劇映画になった!

人生失敗続きの男が治安の悪いNYの場末に作ったライブハウスがロックの歴史を変える。「オリジナル曲のみ」というルールが、まだ何者でもないテレヴィジョン、ラモーンズ、ブロンディ、パティ・スミス、トーキング・ヘッズを呼び寄せ、パンクを生んだ奇跡に立ち会う

セックス・ピストルズ 破壊の設計図 学

2025年|アメリカ|カラー&白黒|ビスタ|1h36|DCP



© 2025, I WAS A TEENAGE SEX PISTOL PRODUCTION, LLC ALL RIGHTS RESERVED

11/5(木)▶11/13(金)

監督:アンドレ・レリス、ニック・ミード／原作:グレン・マトロック／出演:グレン・マトロック、ジョニー・ロットン、スティーヴ・ジョーンズ、ポール・クック

伝説のパンクバンドの隠された歴史
彼らのデビュー前におきていたこと

1977年、セックス・ピストルズのデビューアルバム「勝手にしやがれ!!」が大ヒットしたとき、その大半を作曲したベーシスト、グレン・マトロックはバンドを脱退していた。ロンドンのブティック「SEX」の店員だったグレンが語る、セックス・ピストルズ誕生秘話。

モネと時間旅行 MMC 学

2025年|フランス|カラー|シネスコ|2h06|DCP



© STUDIOCANAL - COLOURS OF TIME - CE QUI ME MEUT - Emmanuelle Jacobson-Roques

11/4(水)、11/24(火)

監督・脚本:セドリック・クラピッシュ
出演:スザンヌ・ランドン、アプラム・ヴァプレ、ヴァンサン・マケーニュ、オリヴィエ・グルメ、セシル・ドゥ・フランス

ノルマンディーからパリへ
印象派の誕生に立ち会う時間の旅

先祖のアデルが遺したノルマンディーの家が再開発の対象となり、互いに面識のない親族がパリに集まる。派遣された有志がその家を開けると、様々な遺品とともにアデルを描いたと思われる印象派の絵画が見つかる。彼女と巨匠モネの関係が解明されていく感動作。

●26年ナンタケット映画祭　観客賞
●26年セザール賞　有望新人賞&衣装デザイン賞&美術賞ノミネート

さとこはいつも 学

2026年|日本|カラー|ビスタ|2h19|DCP



© 2026『さとこはいつも』製作委員会

11/5(木)▶11/20(金)
♣UDCastMovie対応作品

監督・脚本:沖田修一
出演:有村架純、石田ひかり、姫野花春、吉田羊、オダギリジョー、筒井道隆

年齢も環境も違う3人の「さとこ」の物語
キュートでユニークな人間賛歌

デビュー20周年の沖田修一監督が描く、3人の「さとこ」の物語。鼻炎持ちの中学生聡子15歳。韓流ファンで映画配給会社勤務の沙都子35歳。子育てをほぼ終えた元文学少女の里子55歳。自分の物語を紡ぐそれぞれの「さとこ」たちの姿をポップに描く心温まる人間賛歌。

●26年TAMA映画賞　作品賞

雌鶏 学

2025年|ギリシャ、ドイツ、ハンガリー|カラー|シネスコ|1h36|DCP



© 2025 Pallas Film-Twenty Twenty Vision-View Master Films-ZDF

11/5(木)▶11/13(金)

監督・脚本:パールフィ・ジョルジ／共同脚本:ルットカイ・ジョーフィア／出演:フェリ他8羽の雌鶏、ヤニス・コキアスメノス、マリア・ディアコパナジオティ

世界初、主演ニワトリ
雌鶏の視線から描く非情な世界の姿

養鶏場で生まれ育ち、輸送中にトラックから逃走した1羽の雌鶏。彼女は海辺のレストランに住み着くが、オーナーの娘夫婦は不法移民の密入国ビジネスに手を染めていた。風光明媚なギリシャの海岸から見える非情な世界の姿。8羽の雌鶏が得意分野を演じ分けた異色作。

●25年トロント国際映画祭　Platform部門特別表彰
●26年イスタンブール映画祭　ゴールデン・チューリップ部門特別表彰
●25年東京国際映画祭コンペティション部門出品

ムクドリと人生とレモンパスタ 学

2025年|イタリア、スペイン|カラー|スタンダード|2h02|DCP



© Copyright 2025 Cattleya S.r.l. unipersonale, Rodeo Prodcuzioni S.r.l. unipersonale, Bartlebyfilm S.r.l.,Vision Distribution S.p.A, Buena Pinta Media S.L.U., Rteam Prods S.L., Pendolin Films S.L., Apaches Entertainment S.L., Tres Cuences A.I.E. Tutti i diritti riservati.

11/14(土)▶11/27(金)

監督:イザベル・コイシェ
脚本:エンリコ・アウデニーノ、イザベル・コイシェ
原作:ミケーラ・ムルジャ
出演:アルバ・ロルヴァケル、エリオ・ジェルマーノ、シルヴィア・ダミーコ

ローマに暮らす体育教師が始めた
新たな生活のために必要なこと

ささいな口論で7年間暮らした恋人が去った、体育教師のマルタ。代わりに彼女の部屋にやってきたのは、スーパーの景品の3つのボウルとK-POPスターの立て看板。ローマの街を自転車で走りまわる彼女に予想外の知らせが…。深い余韻に包まれる温かい人生の物語。

●26年ダヴィッド・ディ・ドナテッロ賞　助演女優賞ノミネート
●26年バリャドリッド国際映画祭コンペティション部門出品

NAZA ナザ

2026年|イギリス|カラー|ビスタ|1h20|DCP



© The Guardian 2026

11/14(土)▶11/27(金)

監督:ユヴァル・アブラハーム、ラヘル・ショール
出演:24人の匿名証言者

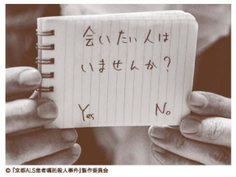
英国紙ガーディアンが製作
ガザ地区民間人虐殺の実態を暴く衝撃作

『ノー・アザー・ランド 故郷は他にない』のイスラエル人監督が、イスラエル軍関係者24名の匿名証言によりガザ民間人虐殺を告発する。携帯電話の位置情報からハマス構成員の行動を把握、巻き添えとなる家族や民間人を「NAZA」と呼び、平然と攻撃していたシステムを暴く。

●26年ヴェネチア国際映画祭　審査員特別賞等全5冠
●26年サンセバスチャン国際映画祭　ヨーロッパ映画賞

京都ALS患者嘱託殺人事件 学

2026年|日本|カラー|ビスタ|1h38|DCP



© 『京都ALS患者嘱託殺人事件』製作委員会

11/14(土)▶11/27(金)

監督:二村真弘
声の出演:田畑智子

2019年に起きた事件を
多角的視点から取材

ALS患者の林優里さんは、自宅でひとり暮らしを続けていた。眼球しか動かせず、痰吸引や胃ろうからの食事、排せつなど24時間介助が必要だった彼女はやがて安楽死を望む。そしてその求めに応じた医師はどういう人物なのか。実際の事件を多角的視点から取材した力作。

魂のきせき 学

2025年|日本|カラー|ビスタ|1h37|DCP



© Kasama Film

11/14(土)▶11/20(金)

監督:小林茂
出演:森永都子、高橋和枝、にのみやさをり、小林茂

映画に何ができるのか?
性暴力サバイバーとの協働の記録

性暴力のサバイバーであることを公にしている写真家との出会いをきっかけに、9年間にわたる長期取材が始まる。監督の大切な友人が、幼少期に受けた性虐待のPTSDで苦しむ様子を見てきたからだ。多様な痛みを抱えるサバイバーたちとの真摯な協働が記録されている。

さよなら、私のロシア 学

2025年|クロアチア、オランダ、フランス|カラー|ビスタ|1h30|DCP



© 2025 LEWA productions - Revolver Amsterdam - Giorgio Savona productions

11/21(土)▶11/27(金)

監督:ジャンナ・アガラコワ
出演:ジャンナ・アガラコワ、アリーチェ・サヴォーナ、ジョルジオ・サヴォーナ

ウクライナ侵攻に抗議し辞職した
ロシア国営テレビ特派員の心の旅

ロシア国営テレビのキャスターで、2005年からパリ特派員として活躍したジャンナ・アガラコワは、2022年のウクライナ侵攻に抗議し辞職した。休暇のたびにイタリア人の夫と娘を連れ、ロシア各地を旅行していた彼女が撮りためた映像をもとに、失った祖国を振り返る。

●25年シェフィールド国際ドキュメンタリー映画祭
●26年アートドックフェスト
●26年ニューヨーク国際インディペンデント映画祭

ジュディ・シル 贖罪のシンガーソングライター 学

2022年|アメリカ|カラー|ビスタ|1h31|DCP



© 2023 Onwards & Upwards LLC Exclusively licensed to TAMT Co., Ltd. In Japan

11/21(土)▶11/27(金)

監督:ブライアン・リンドストローム、アンディ・ブラウン
出演:リンダ・ロンシュタット、ジャクソン・ブラウン、グラハム・ナッシュ、デヴィッド・クロスビー、デヴィッド・ゲフィン

10代で銀行強盗での逮捕歴を持つ
孤高のシンガーソングライター

1971年にデビューアルバムを発表し、アメリカのフォーク・ロック界の新星となったジュディ・シルは、類まれな音楽的才能に恵まれながら、失意のなか35歳で他界した。その波乱万丈の生涯を、多種多様なアーカイブ資料で鮮やかに描き出した音楽ドキュメンタリー。

川崎の映画館情報
麻生区 ■イオンシネマ新百合ヶ丘 044-965-1122
川崎区 ■チネチッタ 044-223-3190　■TOHOシネマズ川崎 050-6868-5025　■109シネマズ川崎 0570-007-109

映画監督・今村昌平生誕100周年記念上映会

「いま、今村昌平を観る」

『国宝』の李相日監督が選んだこの1本!



今村昌平(1926–2006)

1926年東京生まれ。51年に松竹大船撮影所に助監督として入社、日活へ移籍後、65年今村プロ設立。83年に『楢山節考』、97年に『うなぎ』で二度のカンヌ国際映画祭の最高賞を受賞。日本映画学校(現・大学)の創設をはじめ、後進の育成にも力を注いだ。

楢山節考

1983年|日本|カラー|ビスタ|2h11|DCP



©今村プロダクション、東映

11/28(土)
13:25

監督・脚本:今村昌平
原作:深沢七郎
出演:緒形拳、坂本スミ子、倍賞美津子、あき竹城、清川虹子、左とん平、小沢昭一

70歳になった老人は楢山に捨てる村の掟に従う母と苦悩する息子。長男だけが妻帯できる極貧の村に生きる人々を、昆虫や動物と同様とするユーモアあふれるリアリズム演出で描き、カンヌ映画祭パルムドールに輝いた名作。

★トークゲスト:李相日さん(映画監督)｜聞き手 天願大介さん(日本映画大学学長)

しんゆりシアター 劇団わが町 第16回公演「チェーホフ入門」

2012年旗揚げ、12～85歳までの55名が所属し同館を拠点に活動する市民劇団・劇団わが町が、文豪・チェーホフの短編小説を【一幕喜劇＝ボードビル】として上演します。



【原作】アントン・チェーホフ
【作】上崎実、萩坂心一(劇団わが町)
【演出】ふじたあさや
【日時】12/4(金)19:00
12/5(土)13:00｜18:00
12/6(日)12:00★｜17:00
★観劇支援＝12/6(日)12:00のみ
託児サービス、音声・字幕ガイドを実施
【料金】(全席指定・税込) 一般3,500円
U30(30歳以下)2,700円
小学生以下1,500円
障がい者割引2,700円
※推奨年齢:小学生以上 ※10/26(月)より発売

▶公開ゲネプロを見学しませんか?
【日時】11/29(日)16:00 開始
【料金】1,500円(全席自由) ※11/16(月)より発売

本公演は、地域の子どもたちへ文化芸術を届けるプロジェクト「やさしさリレー」対象事業となります。

「やさしさリレー」とは?

地元企業、団体、個人の皆さまからいただいた寄付をもとに、公演を鑑賞したい小中学生の皆さんにチケットをプレゼントします。詳細はHPをご確認ください。 詳細はこちら▲

■チケット取り扱い
しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)
・窓口　9:00～19:30(毎月の施設点検日を除く)
・電話　044-959-2255
(9:00～19:30／毎月の施設点検日を除く)
・WEB　https://kawasaki-ac.jp

川崎市アートセンター開館20周年
記念ロゴ大募集!

2027(令和9)年10月に川崎市アートセンターは開館20周年を迎えます。そこで、次の20年の扉を開くシンボルとして「20周年記念ロゴ」を募集します。 詳細はこちら▲

♣バリアフリー上映情報

♥保育付き上映[要予約]

映画鑑賞中に保育ボランティアスタッフがお子さんをお預かりします。

『進行曲 マーチングボーイズ』
11/11(水)10:00の回
対象:0歳(お座りできる頃)から未就学児まで
諸費用200円｜定員:各回5名
【予約締切】各3日前
※チケットは別途お求めください。 詳細はこちら▶

♣UDCastMovieアプリ対応

『さとこはいつも』

みんなで放課後シアター参加者募集!

映画を観てざっくばらんにお話しませんか
世代を問わず参加可能です

『さよなら、私のロシア』
11/23(月・祝)14:25の回上映後

参加をご希望の方は ws@kawasaki-ac.jp までお申込みください。

これからの上映作品(予定)

『国宝』『南極料理人 4Kリマスター』
『見上げてごらん』
『日曜のあと』
『インサイド・ガザ 封鎖の内側から』
『ファーザー マザー シスター ブラザー』
『キセキの第九』『ブルネロ 静かなる先見者』
『コール&レスポンス』



『国宝』© 吉田修一／朝日新聞出版 © 2025映画『国宝』製作委員会



『見上げてごらん』© 2026『見上げてごらん』製作委員会

おかげさまで19周年! ポスタープレゼント!

当館で上映した作品のポスター(使用済み)をプレゼントいたします。11/4(水)9:00より配布いたします。
※作品によってはないものもありますのでご了承ください。なくなり次第終了いたします。